

『地の時代』から『風の時代』へ

一般財団法人アーネスト育成財団
理事長 西河洋一

あけましておめでとうございます。

2020年12月22日は、木星と土星の軌道が近づき、地球から重なったように見えるグレートコンジャンクションが起きました。西洋占星術では、この時を境に風の時代になると言われています。

これまで240年程続いてきた地の時代は、「産業、労働、経済」を中心とした社会の基盤づくりの時代でした。地の時代が始まったのが産業革命の頃で地球全体で経済の基盤作りをしてきたのです。富裕層と貧困層が明確になり、お金があるほど良い、偉いになる社会でもありました。時代はこれまでの資本主義・経済活動の基盤づくりの時代から、個々の権利や自由を開放する時代へと変わっていきます。

新しい風の時代は、「個人、個々の自由と権利、平等性」「ネットや人との関わり」ということがキーワードと言われています。もうすでに数年前から、この風の時代のキーワードは社会で感じられるようになってきていました。

急速に進むネット社会、そして新型コロナウイルスが時代の切り替わりのきっかけになりました。コロナ禍におけるテレワークやオンラインの普及はその象徴でしょう。また、LGBTQの人たちが権利を求めて活動を進める等、個々の自由や権利の尊重もまさに風の時代的な動きだと言えます。

とは言え、長く続いた地の時代の名残はまだしばらく残り、これから20年ほどは切り替えの時期として、地の時代的な出来事と新しい流れがぶつかり合いながら、様々な価値観が生まれ変わっていきます。

新しい時代は、一人一人が主役です。自分の頭で考えて、それを行動していく。それを何回も繰り返していけばパワーが増していき、幸せが舞い込んできます。

同じような価値観を持った仲間を増やしていき、新しい風の時代の到来を意識して、ポジティブな心でワクワクしながら新たな価値観を見出してまいりましょう。自らが光となって、愛を持って物事にあたり、真実に向けて良き時代を作ってまいりましょう。